

原井小学校の三則を紹介いたします

生徒指導部より

原井小学校には、全校児童、全職員が意識して取り組む、原井の三則があります。この三則は、長い間ずっと受け継がれてきています。きつと、この三則が人としての基礎を作る大切な教えだからだと思います。

- 一 場を清める
- 二 時間秩序を正す
- 三 人間関係を高める

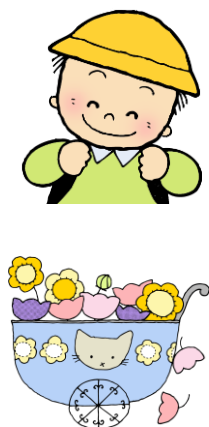
まず、「場を清める」とは、自分の身の回りを整えることです。学習に向かいやすい教室の環境、生活しやすい学校の環境作りを目指しています。子供達には、ロッカー、引き出し、ランドセルの中などを整えることで、自分の心も整えて日々の生活を送ってほしいと思います。

最後に、「人間関係を高める」とは、人とのつながりを大切にすることです。そのために、話の聞き方やあいさつの仕方、相手を思いやる言葉がけなどを大切にしています。お互いを大切に思いやる心を育てることで、いじめのない学校を目指しています。

そこで、始業式の後、全校児童に向け、「当たり前のことを当たり前にしよう」という話をしました。当たり前にしてほしいことを子供達に覚えてもらうため、今年度もお馴染みの「あいいうえお作文」にして伝えました。

あ	い	う	え	お
いさつは自分から	じめは許さない見逃さない	そをつかず正しく反省	がおと	もいやりいっばい

当たり前のことを当たり前にすることができずすきな学校をみんなで作ってほしいと思います。



(担当 安食 遼)

保健関係



小学校の玄関へつながる歩道の横に銅像が立っています。ある保護者さんが娘さんの迎えに来られた時にこの銅像を目にされ、「懐かしいです。自分が小学校の時に旧校舎にありました。」と私に嬉しそうに話されました。これは、昭和四十五年度 日本一健康優良学校に選ばれたのを記念して旧校舎に設置された銅像です。二人の児童がボールを手に、はつらつと運動をしている様子がすがすがしく感じられます。

銅像は毎日学校に通ってくる児童を迎え、そして元気に下校して行く子どもたちを見守っています。原井小学校は新校舎となりましたが、あちこちに旧校舎を思い出させてくれるメモリアルがあります。

「原井の教育」の4つの土台の一つに健康教育があります。原井小学校では、第二中学校区の四校が協力をしてアウトメディアの取組に力を入れています。これは、家庭の協力なしでは、効果がありません。健康にメディアが大きく影響する現代の生活と日本一になった五十年前には、想像することはできなかったでしょう。しかし、健康への課題は変わっても、五十年前も今も、健康を願う思いは変わりません。基本は家庭と学校の連携・協力であると思っています。本年度も学校保健へのご協力をお願いします。

(養護教諭 花本 千歌子)

入学式

四月十一日(月)

十一日(月)、入学式を行いました。三十一名の新入生が元気いっばいに入学しました。

入学式の中では、担任が一年生一人一人の名前を呼びました。全員が大きな声で返事をし、よい姿勢で起立をしました。本場に立派な態度でした。

校長先生から一年生に、これからの学校生活で大切にしてほしいことについて、次のお話がありました。

一つ目は、「元気」ということです。まずは元気に学校に来て、元気のよい返事や挨拶をして、給食をしっかりと食べて元気な体を作る。元気があればどんなことでも頑張れるというお話でした。

二つ目は、「仲よく」ということです。みんなと仲よく勉強をしましょう。仲よく遊びましょう。誰とでも仲よくできる人は、学校での生活が楽しくなりますというお話でした。

入学式に参加した六年生を代表して、三家本葉耶さんと土田優菜さんが「心配なことや分からないことがあれば、遠慮せずに私たち六年生に聞いてください。私たちも一緒に考えていきます。みんなで協力し楽しい学校生活を送りましょう。」と、お迎えの言葉を述べました。

(担当 池辺 里美)